

旧赤松家だより

令和元年 7月 10日



ザクロの花を見たことがありますか？色も形もタコさんウインナーにそっくりで愛嬌があります。ここひと月ほど木の周りにコロコロとたくさん落ちていたのですが、姿を見なくなったので花も終わりかと見上げたら、まだ可愛い実をつけていました。もうしばらく楽しませてもらえそうです。

旧赤松家記念館に来館される方から「中に入るのは初めてだけど、表の門とクスノキは通るたびに気になって見ていました」というお話をよく伺います。確かに赤いレンガ造りの門と大きなクスノキの組み合わせは、そこだけ国や時代が違っているかのようで目を引きます。

そのクスノキですが、樹齢は約120年。ちょうど屋敷が建てられた頃に重なります。大木に育つクスノキに今後の繁栄を願って植えられたのでしょうか。当時の想いは分かりませんが、今ではすっかり記念館のシンボリック的存在になっています。



建築当初の門（明治34年）



現在の門

内蔵1階ギャラリーでは、10日から「向笠デジカメクラブ」による『四季の風景写真展』を開催しています。四季の香り漂う作品をお楽しみ下さい。

内蔵ギャラリーのご案内

『四季の風景写真展』

開催期間：7月10日(水)～7月24日(火)

* 休館日 7月16日(火)、22日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後1時まで)

入場料：無料

出展者：向笠デジカメクラブ

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



<展示作品から>